

ときには読書を

学校長 狩野賢司

1学期も今日で終わり、明日からは夏休みがはじまります。5年生と6年生はすぐに富浦臨海があります。富浦臨海では遠泳を泳ぎ切ることを1つの目標としていますが、あくまで目標の1つであり、仲間と支え合って泳ぐこと、自分の持てる力を発揮すること、自然に畏敬の念を抱くこと、そして集団で過ごすにあたって自律の心を学ぶことなど、他にも目標があります。あまり遠泳だけにウエイトをおきすぎず、子どもたちが過大なプレッシャーを抱くことなく臨海に臨めるようお願いいたします。

長い夏休み、どのように過ごすかいろいろな計画を立てておられると思います。ぜひ親子で楽しい時間を過ごし、思い出深い夏休みにしてほしいと願っております。また、子どもたちには思い切り体を動かして活動してほしいと思います。スポーツや外遊びなど、活発に体を動かすことで（もちろん熱中症には気をつけて！）夏の間にとまわりたくましくなることでしょう。

しかし、天気の良い日ばかりではありません。雨の日もあります。近年は東京に近づく台風も多くなっているようですから、その影響で天気が悪い日が続くこともあるかもしれません。そんな日の余暇には、テレビゲームではなく、本に向かうようお子様たちを誘っていただきたいと思います。長い休みは読書にも最適な期間です。普段では手を伸ばすのをためらうような、分厚い、分量のある本や、長いシリーズものにも、腰を落ち着けて取り組むことができます。読書の習慣があまり身につけていない子どもの場合、最初からそのような難関に挑むのではなく、とにかく自分で読んで面白いという本を見つけてほしいと思います。どんな本を面白いと思うか、それは人それぞれでしょう。世界の名作が面白いと感じるには限りません。予測するのが難しい反面、それは個性や個人としての好みの形成にもつながっていますので、大事にしてほしいと思います。読書の習慣が身につけば、名作と呼ばれる本にも取り組んでいけるかと思っています。

そんな読書の際、できれば時間を見つけて、お子様たちと同じ本を読んでいただければと思います。そして、親子でそれぞれ感想などを話し合うことで、いっそう読書への興味が増すこともあるかと思っています。学校では、他の人の意見を聞いて、自分とは違う他者の立場を認め、お互いの存在を大切にしようと指導しております。ご家庭でも、同じ本を読んで自分とは違った感想を聞くことで、子どもたちは視点をより大きく広げることができると思います。

最後になりますが、ご家庭におかれましては、お子様が事故等に巻き込まれないようご留意していただき、楽しい思い出でいっぱい夏休みとなるようお願いいたします。2学期には、元気に成長したお子様たちに会えること、そして夏休みの思い出などの話を聞けることを、教員皆で待ち望んでおります。そして、保護者に皆様には1学期中、学校の運営や活動に関して、多くのご協力やご支援をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。